



満開の平筒沼の桜。切り株を椅子代わりにのんびりお花見する姿も

毎年花見時期には、たくさん的人が訪れる平筒沼。今年は例年よりも開花が早いということもあってか、咲き始めの時期から多くの人が花見に足を運んでいました。

暖かい日が続いた4月6日には満開となり、絶好の花見日和。たくさんの人で

賑わっていました。

現在、浮桟橋（平筒沼ふれあい橋）が経年劣化と係留する鎖の破損により利用できないため、沼のほとりを一周したり、枯れて伐採した桜の木の切り株がちょうどいい休憩ポイントとなり、その上に座ってのんびりしながら花見を満喫する姿が至る所で見られました。

桜(ソメイヨシノ)が開花してから散り始めるまでの

日数は、約10日から2週間ほど。満開になってからだと、1週間ほどで少しづつ散り始めるそうです。

花の中に散るサイン

どうしたら満開の桜が散るタイミングを見つけることができるのでしょうか。そんなときは桜の花びらをのぞき込んで「桜の花の中心」をチェックしましょう！

桜の花弁の色は、アントシアニンという色素によるもので、花を咲かせた後、



キオルレで歩いていたご夫婦は「桜もキレイで、天気も良く気持ちがいいね」といい汗を流していました

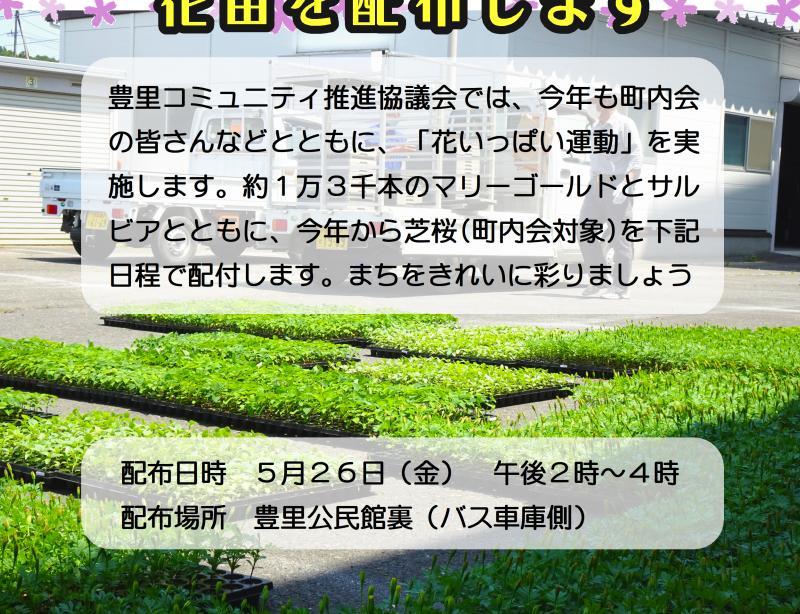
花の公園の桜。春の日差しと木陰が心地よく、散歩に最適です



平筒沼農村文化自然学習館前で一枚



各町内会・施設を対象に 花苗を配布します



配布日時 5月26日（金） 午後2時～4時
配布場所 豊里公民館裏（バス車庫側）

【 芝桜(別名ハナツメクサ) 】

花言葉：「臆病な心」「合意」「一致」「忍耐」「燃える恋」「華やかな姿」「一筋」

芝桜(シバザクラ)はハナシノブ科の多年草で、北米原産。色はピンクや白などいろいろな品種があり、4・5月ころにサクラに似た形の花を咲かせ、それ以外の時期には葉形や地面をはうように伸び、芝生のように広がって美しいことから「芝桜」と名付けられました

た。残念ながら配付時には芝桜の見頃は終わりますが、しっかり根を張って、来年の春にはきっとキレイに咲いてくれることでしょう。

公民館では、多目的研修センター入口の花壇に植える予定ですので、何色の花が咲くのか楽しみにしていて下さい。

家庭で手付かずのまま眠っている食料を集めて寄付する活動「フードドライブ」を、令和4年6月～令和5年3月に豊里公民館で実施しました。期間内には26人から、米や缶詰、レトルト食品など251品、総重量102.5kgの寄付をいただきました。これらは、NPO法人スマイルむさしを経由し、登米市内の必要とされる人に届けられています。たくさんのご協力ありがとうございました。

やさしさありがとうございます

総重量
100kg
超える



寄付していただいたものの一部。いろいろな食品が集まりました

5月の公民館行事

日 時	行 事 内 容	場 所
25日(木) 10時00分	いけばな教室	平筒沼学習館
26日(金) 14時00分	花苗配付	公民館裏

さまざまな社会課題に対し17のゴールが設定されているSDGsで、「食品ロス」と「食品を必要とする人々に支援として届ける」という2つの活動課題に貢献するフードドライブ。「食べものを大切にし、助け合う」誰かの笑顔のために、これからもご協力をお願いします。

令和5年度も引き
続き実施予定です

